

こんにちは!

村立東海病院です



ポリファーマシーに注意しましょう

近年、ポリファーマシーが社会的に注目されてきています。

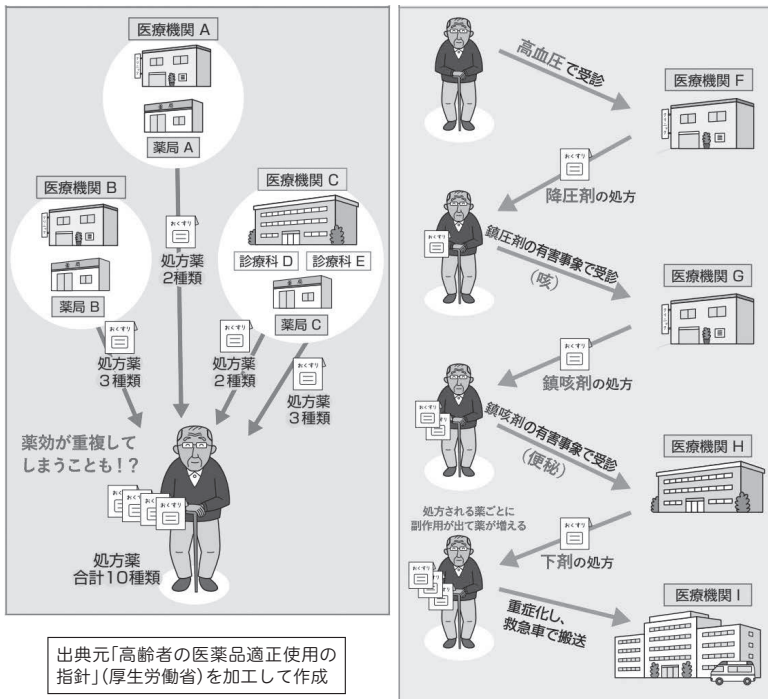
ポリファーマシーとは、不適切に多くの薬を服用している状態※を指しますが、明確な定義はありません。特に、高齢になると薬の代謝を行う腎臓や肝臓の機能が低下してくるため、注意が必要となります。また、服用している薬が多いからといって、自己判断で中断することは大変危険です。疑問なことは、かかりつけの医師や薬剤師へ相談することをお勧めします。

※6種類以上の薬を服用していると、転倒・転落などの有害事象が生じやすくなると言われているため、ポリファーマシーの目安とされています。しかし、多くの薬を服用している方は、複数の疾患を抱えていることも多く、そういったことが有害事象増加の要因になっているとも考えられます。そのため、単に薬の種類が多いことを問題とすることは誤りと考えられています。

● ポリファーマシーになりやすい環境

- ▽複数の医療機関を受診している
- ▽処方された薬があるが、飲んでいないということを医療機関や薬局に伝えていない
- ▽お薬手帳を医療機関ごとに別々で管理していて、服用歴の連携ができていない(別になっていても一元的管理していれば問題はない)
- ▽薬を多く飲んだほうが良いと思っている

● ポリファーマシーの典型例

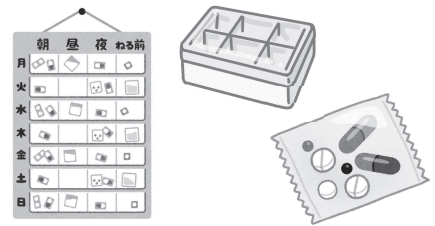


● ポリファーマシーの問題点

- ▽飲み忘れや飲み間違いが増える
- ▽何の薬を飲んでいるか分からなくなる
- ▽転倒・転落などの有害事象が増える
- ▽医療費の負担が増える

● ポリファーマシーを改善するには

- ▽かかりつけの医療機関、薬局をもつ(相談する)
- ▽お薬手帳を活用する
- ▽処方されている薬に関心を持ち、疑問なことは医師や薬剤師へ相談する
- ▽服薬カレンダー、お薬ケース、薬の一包化を利用して飲み忘れがないようにする



マイナンバーカードで医療情報の連携が進んできていますが、現状ではまだ十分ではありません。自分の健康は自分で守る意識が必要です。

村立東海病院 薬剤師 高木健児

村立東海病院の公式SNSをはじめました

お知らせや活動報告、リクルート情報などを発信しています。ぜひ、ご活用ください。

Facebook



X



Instagram



【問い合わせ】村立東海病院 (☎282-2188)、地域福祉課地域福祉・地域医療推進担当 (☎282-1711 内線1132)